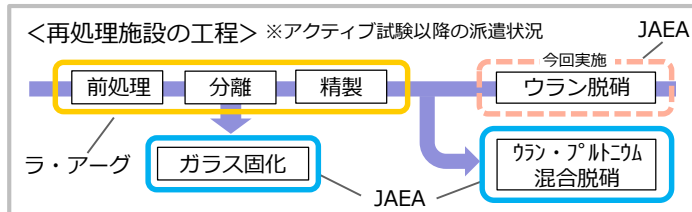


当社は、再処理工場のしゅん工・操業を見据え、フランスのラ・アーク再処理工場と東海村のJAEA（日本原子力研究開発機構）再処理施設で、運転員の技術力の維持・向上に取り組んでいます。



当社の脱硝工程は、JAEAの再処理施設と同様、旧動燃（動力炉・核燃料開発事業団）で開発された国産技術を採用しており、現在、廃止措置作業としてウラン溶液の脱硝を行っている同施設で、12月4日から2024年1月末まで、運転未経験者を中心に運転員7名を派遣し、経験を積んでいます。

当社の運転員は、JAEA職員の指導のもと、ウラン溶液の流量調整や設備の温度調整といった運転操作を行ったり、設備の保守・点検などを実施しています。

## 制御室



脱硝塔へ供給するウラン溶液の流量を調整する様子



脱硝塔の温度操作をする様子

## 現場



排風機の点検を行う様子



脱硝設備の運転操作の指導を受ける様子

## 【運転員の声】



にいやま きょう  
新山 恭（六ヶ所村出身）

自分の操作一つで、他のパラメータにも影響が出るため、全体を気にしながら運転操作を行う必要性を実感した。



あずま ようし  
東 耀司（三沢市出身）

実際に動いている設備でしかできない経験を積み、このメンバーでしっかり運転できるようになって帰りたい。

## JAEA再処理廃止措置技術開発センター 栗田センター長のご発言

- ・実機での運転操作を通して、設備が動いている状態を肌で感じてほしい。
- ・東海での経験を自信に変えて持ち帰り、六ヶ所での立ち上げや稼働に向けた準備に活かしてほしい。

引き続き、運転員の技術力の維持・向上に継続的に取り組み、地域の皆さまにご安心いただける人と施設を作り上げてまいります。